

“第5回グアナファトフードフェスティバル”が開催されました

今回で5回目となりますグアナファトフードフェスティバル（広島フェスティバル）が開催され、当親善協会も協力参加いたしました。

同フェスティバルには、毎年行われています広島県や調理技能士会など5団体で構成する“料理人コンクール実行委員会”主催の「ひろしま和食料理人コンクール」において優秀な成績を収めた料理人のうち、今年は2名と広島の老舗料理店“稲茶”の下原氏の3名がグアナファト州に派遣されました。

現地では、日本料理店等を運営するフェリペ氏率いるFYNSOグループから料理人、スタッフや厨房、食材調達等において、今年も全面的な協力を得て、また車で移動や通訳などはグアナファト広島アミーゴ会からの強力な支援により、今回も開催することができました。



7月25日レオン会場「Casa de Piedra」での開会イベント、鏡開き



レオン会場で優秀料理人の表彰を受ける受賞者



広島料理人と現地の料理人による仕込み風景

7月25日レオン会場「Casa de Piedra」には約380名、26日サラマンカ会場「Casa de la Cultura」には約150名、27日イラブアト会場「Sushitai Sake&Bar」には約150名、そして28日には、レオンの「SATO」において、グアナファト広島アミーゴ会主催の広島県訪問団とグアナファト州知事、レオン市長他現地要人等、約60名の交流会が開催されるなど、多くの方々にご参加いただき、広島の料理を堪能していただきました。



サラマンカ会場内の様子

料理の仕込みは、フェスティバル開催の3日前から開始し、開催期間を合わせ7日間にわたり広島の料理人と、FYNSOグループの料理人、スタッフ等国境を越えた強い絆により今年も素晴らしいフードフェスティバルとなりました。

当フェスティバルは当親善協会においても、事業計画に掲げる「グアナファト州との友好促進」、「グアナファト州民に喜ばれる」、「中長期的に継続可能」に、相応しい事業として今後も継続されることを願っています。



イラブアト会場、フェスティバル開始を待つ料理人



レオン「SATO」での交流会会場で紹介される料理人